



わが家は三代続いた「空堀人」です。祖父は大阪砲兵工廠で大砲の玉をつくる職人でした。父は戦前、真鍮鋳物挽物業という機械の部品をつくる町工場を営んでいました。戦後は太平洋戦争から帰ってきて、駄菓子屋を商つてきました。今、私は「おはなしさろん」

を開いて、昔話や文学作品や、戦争で中国に三回出征した父の体験や、自分の人生を語っています。その中に「わたしの空堀物語」がありまして、なつかしい昔の空堀の風景を大阪弁で語っています。ちょっと、聞いておくれやす。

「私の生まれました【空堀】は秀吉さんが大阪城を建てはった時、南側を守るために掘りはった空の堀跡が地名になつたそうです。戦災を奇跡的にまぬがれましたので、古い家が残り、路地の多い町道とお稲荷さんが並んでいます。四月三日のお稲荷さんの日には「正一位稻荷大明神」と書かれた赤いのぼり旗がはためきます。男の子が太鼓をたたき、その後にのぼり旗を持つた子どもたちが「正一位稻荷大明神、おいなりさんのことなら、どこまでも」と唱えながら路地から路地へ練り歩きました。

井戸は二十米もある深い井戸で、その深い井戸と掛けたシャレ言葉がありました。「あのひととある人は上町の井戸やで」「へえ！そんな深い仲とは知らんなんだナ」大人のひそひそ声が聞こえてきました。

四のつく日は空堀商店街に夜店

土曜日、午後一時から開いています。
「おはなしさろん」は毎月第一

(田中康子)

わたしの空堀物語



第50号
(2021.3.28)

「空堀界隈を散策される皆様へ」

- ◆路地の奥は私有地が多いので注意ください。
- ◆美しい石畳や木造家屋に「コミは似合いません」。
- ◆商店街は生活の場でもあります。節度とマナーで笑顔が増えます。

が出ました。金魚すくいの隣は綿菓子屋。綿菓子屋の隣はしんご細工。一本の針金を目の前でおもちゃにほおづき、海ほおづきの隣は綿菓子屋。綿菓子屋の隣はしんご細工。パイプ、カルメラ焼き。珍味ぎり火。あつあつの鰯焼き。イカ焼

する針金細工。樟脳をつけて走るセリロイドの船、地球ゴマ、花火。ぶ輪投げ。古本屋・バナナのたたき売り、ガマの油売りにはいつも人垣がでました。夜店のはずれは、ほの暗く、植木屋と虫売りとなり火でいました。まわり燈籠の店がひとつそりと並んでいました。まわり燈籠が赤や青のなど入れて昔なつかしい空堀物語です。

会のお知らせ

- ◆ふれあい喫茶▶4月10日(土)▶10時~
- ◆キューピークラブ▶4月15日(木)▶10時~12時

■島之内図書館 ☎06-6211-3645

絵本の会を5月から再開しようと準備中

◆春の子供会▶5月29日(土)▶13時30分~14時30分▶事前申し込み▶5月1日(土)申し込み開始▶先着順▶定員5組▶小、幼、保護者▶申し込みは電話か来館

■中央区社会福祉協議会(もも) ☎06-6763-8139

▶ボランティア利用は事前に連絡▶定員はボランティアセンターは16人まで▶会議は1時間まで▶活動は2時間以内▶37.5度以上の不調の方は利用をお控えください。

■たなかやすこ「おはなしサロン」 ☎06-6765-5571

▶毎月第2(土)▶時間:14時~16時▶参加1,000円▶5月は第1(土)

お買い物は空堀商店街で

☆編集後記
いつも遅れてしまいおまちください
さる皆さんには申し訳なく思っています。
今回最大はコロナでした。いろいろ計画が立ち消えたり、延期になつたり、去年の4月、5月はからほりさんもコロナ騒動には勝てず変則でした。大阪信金発行が遅れたので、大阪信金さんは「私が取りに行くの忘れていましたか」と問い合わせがあつた

たり、大阪信金で毎回もらつて読んでもないのに取りに来られたり。今回一番驚いたのは空堀人に登場願つた、石原由美子さんが第1号の1面に寄稿していただいた空堀通り商店街(故)元会長白石さんのお孫さんというのです。私は空堀で教室をされている方はいないかと調べ白石さんに行きました。当たつたのですが50号発行で因縁を感じました。

特定非営利活動法人 高齢者外出介助の会とは?

お年寄りの皆さんに、より楽しく充実した日常生活を過ごしていただくため次のような活動をしています。

- ①外出介助(買い物、お墓参り、通院など)
- ②暮らしサポート(買い物、薬取り、入院時支援など)
- ③車椅子貸し出し(お気軽にご利用下さい)
- ④生きがい作り講座(童謡・唱歌を歌う会、布ぞうりなど)
- ⑤ハーモニカ教室
- ⑥「からほり新聞」制作

お気軽にお問い合わせください。

大阪市中央区松屋町4-8 メイツ松屋町1階
TEL&FAX 06-6764-4002
月~金(10:30~15:00)
E-mail: odekake@helen.ocn.ne.jp
ホームページ: karahori-salon.jimdo.com

動画とホームページで
効果的に集客しませんか?

タロンフォト
050-3749-5585

 <https://talon.photo>
 renraku@talon.photo



広告掲載のお願い

からほり新聞に広告を出しませんか

- ①1コマ 縦49mm×横79mm 3,000円
- ②1コマ 縦33mm×横79mm 3,000円

* 原稿、データ(ロゴ等)をいただきましたら、こちらで作成させていただきます。

連絡: TEL・FAX 06-6764-4002

か ら ほ い 界 限 お 散 歩 M A P

皆様のからほり地域の
情報をお知らせください！



其の46 ～まちはうごく おいしいお店～

まちはいつも動いているようで、数か月で店が変わります。情報に事欠かないのですが、空堀に来られて食事するところを聞かれると、すぐに浮かぶのは慣れたところや評判の店になってしまいます。

空堀にはほかにもたくさんの店があります。味のいい店やすつと続いている店、最近開店した店など。紙面の都合で載せられませんが次回にも続くで・・・



お多福
06-6761-1926
清潔感のある一膳めし屋さんでお財布にやさしい。90歳過ぎたお元気な看板ガールがおられます。



レンガ (RENGA)
06-6768-6214

空堀住民と育ったような感
がある写真が壁一面。被写
体の皆さんプラス30歳は取
っておられるよう。



十五番だんご
☎06-6777-1367

去年開店した新しい店。団子と2階は鮭めしの食事ができます。11時～4時30分まで。階下の団子も売り切れどねんです。



けむり (炭火焼居酒屋)
☎06-4304-8411

昼は11時45分～夜は18時～
黒門でマルチク鶏肉専門店
を経営。空堀に出店された
そうです。



罔茂庵 (imoan)

06-6764-0868
11時～複合ショップ練の一
角にあり心和む空間。クレ
ープが店の看板メニュー。
スパイスカレーもしています。



野菜御飯 幻想植物園
090-9251-7848

メニューは 主菜は二品から選び副菜は珍しい野菜など豊富に使った献立です。
11時～3時30分 定休日曜日



道勝力フエ
06-6796-9

店のたたずまいは昔懐かしい店構え。窓ガラスもステンドグラスでやさしい雰囲気。チキンライスの鶏肉はお隣の鶏匠さんから。美味しいですよ。

桃園公園のモクレンの花が満開

何気なくサロンに来る途中に桃園公園の横を通りかかったら、木に白い花が盛りにみえた。なんの花だろうとグラウンドを横切り花に近づきました。お散歩マップに紹介した、皇太子の（平成天皇）ご成婚記念に植えられたモクレン。前の取材では花をつけていなかったので木の名前も知らなかったのです。ちょうどいい時期に再びめぐり逢いました。

人の出会いもちょうど良い時に出会えば花も実もなりますが、タイミングを外せば、すれ違っただけの路傍の人でこのように終わってしまうのですね。純白の花で思いを巡らせた時間でした。



小さなヨーロッパ風田舎家

その木から少し離れて小さな箱庭というには大きな焼き物の家が据えられています。なんだろう近づくと小さな庭のあるエキゾチックな家。近くにウサギの焼き物も。「これは私たちの家」と言っているような。春に先駆けた草花が咲き一足早い春真っ盛りの小さな箱庭風花壇がありました。ちょっと立ち寄ってみてください。



花のアトリエ

店主は話しやすい素敵な片山実里さん。出身は淡路島だそうです。5年関西を離れて山梨で住まれたそうですが山ばかりで寒かったということですが、海の近くで育ったので山にあこがれたのかも。大阪に来てとても住みやすく皆さんフレンドリーで山梨の印象とは全く違うそうです。

もともとデザイン関係のことをして建築の勉強をしていたけど「きれいな色が好き」という理由で花屋さんの仕事をするようになった。

花屋と言っても仕事はいろいろあり、花材もプリザードフラワー、ドライフラワー、フレッシュといろいろで置いて飾れるアレンジメントや壁に掛けるスワッグやリース、身に着けるアクセサリーなども制作。またブライダルやイベント会場の装花、お店のディスプレイなどお花による空間つくりまで。



こだわりは、あくまでもお客様の要望に合わせ、動物のモチーフまでつくられる。

お店にはかわいい花瓶、小物、花のアクセサリー。またかわいい紙袋には一度見たら忘れられない字で花にまつわる詩などが書いたのも販売されています。

一度訪ねてみてください。話していく心が癒されるような気がしました。

お店は上品な感じで控えめ。花を観ないと見落としそうですが上町筋少し手前の右側です。

電 話：080-3799-6711 住 所：〒542-0062 大阪市中央区上本町西3-1-44

E-mail : info@tsuzuri-flower.com Web : www.tsuzuri-flower.com 宿休日 : 水、木

6

ケラ子の介助日記

孫の後を追つて

高齢者外出介助の会

街のおじさんから⁴²
高齢や障害で車いす生活になる
ことは誰にでも起るかも…。
でも車いすからほ世の中が
よく見えてくる。
そんなおじさんの考えたことを
連載で。

いてスタンプ作ろうと野
心を燃やしています。
その、おばあさんです
が何度も描いてもイメージ
は姑になり、良い印象が
ないので怒り顔が浮かぶ
のです。笑っている顔の
思い出が少ない。これつ
て意外に不幸です。

怒る本人は置いといて
も周りはきついです。そ
れが確かに多かったので、
いい関係を作れなかつた
という反省も今回生まれ
ました。

外出介助の会を立ち上
げた経緯も関係があり、
いつも息苦しい思いをし
ながら病院など同行して
ました、気にいらないと
声荒く怒鳴られたり。私
のような立場で付き合っ

声を上げて25年以上が
すぎ立場は私が周りに心
配をかける年齢になり、
姑の怒つてばかりを推測
ですが、思いやつてくれ
ない不満が怒りになつて
いたのでしょうか。

真意はわかりませんが、
私は笑いの多い暮らしい
生き方をしたいと描きな
がら思うのです。

今春社会人になる孫の
成長をまぶしいと見とれ
てないで料理に挑戦。美
味しいものは誰でも心が
和み笑顔になりますから。

新型コロナの緊急事態宣言はようやく終了しましたが、春めいて来たのに、まだ自由に外出出来ずストレスが溜ります。私はまたまた入院中のベッドでこの随筆を書いていて、今回は何と昨年末のクリスマスに、寒さや新型コロナを避けるかのような6度目の入院でした。

新型コロナ対応病院のベッド数が足りなくなつて大変と言われていますが、一般病院もベッド数が足りない状態が起こっています。

私が入院している病院は、地域中核病院で救急も受け入れているベッド数300程度の中規模病院ですが、コロナ対策で救急外来を中止し、発熱外来とコロナ検査に変えています。

救急車で受け入れ先が見つからず、3～4病院

くと言ふやうな話しあは、このよきな事情で救急受け入れが減つてゐるからなのです。またコロナ対応のスタッフや看護師は一般病棟とは隔離され、その分だけ一般病棟の看護師などは手薄になります。ベッドが空いていても看護師の人数が足りなくては、新しい患者の受け入れは出来なくなる訳です。

どの病棟も満床状態が続き、看護師や病院スタッフは多忙です。もう新しい患者を受け入れるゆとりが無くなつて、医療崩壊は既に起つてゐる声も聞こえました。

看護師さんはいつもながら休みには旅行をしたり、呑みに行つたりで発散するのですが、出来ないのでもミスが許されない仕事は辛いですね。

